

## 財団法人静岡市動物園協会寄付行為

設立許可 昭和 44 年 3 月 20 日

変更認可 昭和 44 年 9 月 10 日

変更認可 昭和 61 年 4 月 16 日

変更認可 平成 10 年 5 月 13 日

### 第 1 章 総則

#### (名称)

第 1 条 この法人は、財団法人静岡市動物園協会（以下「協会」という。）という。

#### (事務所)

第 2 条 協会は、事務所を静岡県静岡市池田 1 , 7 6 7 番地の 6 静岡市立日本平動物園内に置く。

#### (目的)

第 3 条 協会は、動物園事業の発展振興をはかり、あわせて動物の愛護思想を普及することを目的とする。

#### (事業)

第 4 条 協会は、前条の目的を達成するために次の事業を行なう。

- ( 1 ) 動物園関係事業の後援
- ( 2 ) 動物に関する講演会、映画会、展覧会、研究会等の開催
- ( 3 ) 動物の愛護運動
- ( 4 ) 動物愛好者の指導
- ( 5 ) 文化団体との連絡
- ( 6 ) 印刷物の刊行
- ( 7 ) 動物園付帯事業の経営及び受託
- ( 8 ) その他協会の目的達成上必要な事業

### 第 2 章 資産及び会計

#### (資産の構成)

第 5 条 協会の資産は、次のとおりとする。

- ( 1 ) 設立に際し基本財産とされた財産
- ( 2 ) 協会の資産及び事業から生ずる収入

( 3 ) 寄付金品

( 4 ) その他の収入

( 資産の種別 )

第 6 条 協会の資産は、基本財産と通常財産の 2 種とする。

2 基本財産は、次の各号により構成するものとし、これを処分することができない。ただし、やむを得ない理由があるときは、理事会において理事現在数の 4 分の 3 以上の同意を得て、静岡県教育委員会の承認を得て、その一部に限り処分することができる。

( 1 ) 基本財産として指定を受けた寄付財産

( 2 ) 理事会において基本財産に繰り入れることを議決した財産

3 通常財産は基本財産以外の財産とする。

4 寄付金品であって、寄付者の指定あるものは、その指定に従う。

( 資産の管理 )

第 7 条 協会の資産は、理事長が管理し、その方法は、理事会の議決による。

2 資産のうち現金は、郵便貯金、確実な銀行等の金融機関又は信託会社等に預入れ、若しくは信託し、あるいは確実な有価証券に換え保管しなければならない。ただし、理事会の議決を経て、不動産を買入れ保管することができる。

( 経費支弁 )

第 8 条 協会の事業に要する費用は、資産から生ずる果実及び事業に伴う収入その他の通常財産をもって支弁する。

( 事業計画等 )

第 9 条 協会の事業計画及びこれに伴う収支予算は、毎会計年度開始前に理事長が編成し、理事会の議決を経て、静岡県教育委員会に届出なければならない。

( 事業報告等の届出 )

第 10 条 協会の収支決算は、理事長が作成し、財産目録及び事業報告書並びに財産増減事由書とともに監事の意見をつけ、理事会の議決を経て、会計年度終了後 3 か月以内に静岡県教育委員会に届出なければならない。

2 協会の収支決算に剰余金があるときは、理事会の議決を経て、その一部又は全部を基本財産に編入し、又は翌年度に繰り越すものとする。

( 特別会計の設置 )

第 11 条 協会は、理事会の議決を経て、特別会計を設けることができる。

2 特別会計の届出及び報告等は、前 2 条と同様とする。

( 予算外義務負担等 )

第 12 条 収支予算で定めるものを除くほか、新たに義務を負担し、又は権利の放棄をしようとするときは、理事会の議決を経て、かつ、静岡県教育委員会の承認を得なければならない。

2 借入金(その会計年度内の収入をもって償還する一時借入金を除く。)を借り入れる場合も前項と同様とする。

( 会計年度 )

第 13 条 協会の会計年度は、毎年 4 月 1 日に始まり、翌年 3 月 31 日に終わる。

### 第 3 章 役員及び職員

( 役員の種別 )

第 14 条 協会に次の役員を置く。

理 事 長 1 名

副理事長 1 名

常務理事 1 名

理 事 10 名以上 15 名以内 ( 理事長、副理事長及び常務理事を含む。 )

監 事 2 名

( 役員の選出 )

第 15 条 理事長は、静岡市長が指名する者をもって充てる。

2 理事及び監事は、理事長が委嘱する。

3 副理事長及び常務理事は、理事会の意見を聞いて、理事のうちから理事長が委嘱する。

4 理事及び監事は、相互に兼ねることができない。

( 役員の職務 )

第 16 条 理事長は、協会を代表し、会務を統括する。

2 副理事長は、理事長を補佐し、理事長事故あるときは、その職務を代理する。

3 常務理事は、理事長の命を受け常務を処理する。

4 理事は、理事会を組織して、この協会の業務を決議し執行する。

5 監事は、民法第 59 条の職務を行なう。

( 役員の任期 )

第 17 条 役員の任期は、2 年とする。ただし、再任を妨げない。

2 補欠により就任した役員の任期は、前任者の残任期間とする。

3 役員の任期満了の場合においても、後任者が就任するまでは、前任者がその職務を行なうものとする。

( 役員の解任 )

第 18 条 役員で、役員としてふさわしくない行為のあったときは、理事会の決議により解任することができる。

( 顧問 )

第 19 条 協会に顧問を置くことができる。

2 顧問は、重要事項について理事長の諮問に応じ答申する。

( 職員 )

第 20 条 協会の事業を遂行するため必要な職員をおき、理事長が、これを任免する。

#### 第 4 章 理事会

( 構成 )

第 21 条 理事会は、理事をもって構成する。

( 権限 )

第 22 条 理事会には、この寄付行為に規定するもののほか、次の事項を付議する。

( 1 ) 事業計画の決定

( 2 ) 事業報告の認定

( 3 ) 予算を伴わない権利の放棄、又は義務の負担

( 4 ) その他協会の運営に関する重要事項

( 招集 )

第 23 条 理事長は、必要に応じ、理事会を招集し、その議長となる。

2 理事現在数の 3 分の 1 以上又は監事から会議の目的たる事項を示して請求があったときは、理事長は、その会議を招集しなければならない。

3 理事会を招集するには、理事に対し、会議の目的たる事項及びその内容並びに日時場所を示して、文書をもって通知しなければならない。

( 定足数 )

第 24 条 理事会は、理事現在数の 3 分の 2 以上の出席がなければ、開会することができない。

( 議決 )

第 25 条 理事会の議事は、出席した理事の過半数の同意をもってこれを決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

( 欠席者の表決 )

第 26 条 やむを得ない理由のため会議に出席できない理事は、あらかじめ通知された事項についてのみ書面をもって表決し、又は代理人に委任することができる。この場合、前 2 条の

規定の適用については、出席したものとみなす。

( 議事録 )

第 27 条 理事会の議事については、次の事項を記載した議事録を作成しなければならない。

- ( 1 ) 開会の日時及び場所
- ( 2 ) 理事の現在数
- ( 3 ) 会議に出席した理事の氏名
- ( 4 ) 議決事項
- ( 5 ) 議事の経過、要領及び発言要旨
- ( 6 ) 議事録署名人の選任に関する事項

2 議事録には、議長及び出席理事のなかからその会議において選出された議事録署名人 2 名以上が、署名しなければならない。

#### 第 5 章 寄付行為の変更及び解散

( 寄付行為の変更 )

第 28 条 この寄付行為は、理事現在数の 4 分の 3 以上の同意を経て、静岡県教育委員会の認可を得なければ、変更することができない。

( 解散 )

第 29 条 協会は、民法第 68 条第 1 項第 2 号から第 4 号までの規定によるほか、理事会において、理事現在数の 4 分の 3 以上の同意を経て、静岡県教育委員会の許可を受けなければ解散することはできない。

( 残余財産の処分 )

第 30 条 協会の解散に伴う残余財産は、理事全員の同意を経て、かつ、静岡県教育委員会の許可を受けて、この協会の目的に類似の公共事業に寄付するものとする。

#### 第 6 章 雑則

( 委任 )

第 31 条 この寄付行為の施行について必要な事項は、理事会の議決を経て別に定める。

#### 附 則

- 1 協会創立当初の事業計画及び予算は、第 9 条の規定にかかわらず、設立発起人の定めるところによる。
- 2 協会設立当初の役員は、次のとおりとし、その任期は第 17 条の規定にかかわらず、昭和 45 年 3 月 31 日までとする。

理 事 長 荻野準平

副理事長	小川元保
常務理事	青島吉太郎
理事	稲葉道三郎
理事	小原  拡
理事	宮崎七郎
理事	川井祐一
理事	重田光晴
理事	加藤治郎作
理事	青島いく
理事	杉山竹次郎
理事	手塚英一郎
理事	青山芳郎
理事	天野忠雄
監事	緒明泰平
監事	小柳津春樹

附 則（昭和 44 年 9 月 10 日教総第 291 号）

この変更は、静岡県教育委員会の認可のあった時から、効力を有する。

附 則（昭和 61 年 4 月 16 日教総第 18 号）

この変更は、静岡県教育委員会の認可のあった時から、効力を有する。

附 則（平成 10 年 5 月 13 日教総第 123 号）

（施行期日）

1 この変更は、平成 11 年 1 月 1 日から効力を生ずる。

（経過措置）

2 前項の規定にかかわらず、平成 11 年 1 月 1 日から平成 11 年 3 月 31 日までを一会計年度とし変更後の第 13 条による会計年度は、平成 11 年 4 月 1 日からとする。

## 財団法人静岡市動物園協会役員名簿

平成22年4月1日現在

役職名	氏名	常勤・非常勤の別	備考
理事長	上原 安夫	常勤	元静岡市 葵区長
副理事長	稲葉 定光	非常勤	静岡市 文化スポーツ部長
理事	石垣 秀士	非常勤	静岡市子供会世話人連合会会長
理事	生子 哲男	非常勤	静岡市獣医師会会長
理事	三浦 徳一	非常勤	学識経験者
理事	森 眞悟	非常勤	学識経験者
理事	海野 陽史	非常勤	静岡市校長会 (安倍川中学校)
理事	八木いくみ	非常勤	静岡市立幼稚園園長会会長 (安東幼保園)
理事	小長谷重之	非常勤	静岡市 行政管理部長
理事	酒井 康之	非常勤	静岡市 財政部長
理事	杉浦 進	非常勤	静岡市 都市計画部長
監事	佐藤 明彦	非常勤	静岡銀行呉服町支店理事支店長
監事	青木 隆知	非常勤	公認会計士

# 平成 2 1 年度 事業報告書

## 法人の概況

### 1 . 設立年月日

昭和 44 年 3 月 20 日

### 2 . 寄付行為に定める目的

本財団法人は、動物園事業の発展振興をはかり、あわせて動物の愛護思想を普及することを目的とする。

### 3 . 寄付行為に定める事業内容

- (1)動物園関係事業の後援
- (2)動物に関する講演会、映画会、展覧会、研究会等の開催
- (3)動物の愛護運動
- (4)動物愛好者の指導
- (5)文化団体との連絡
- (6)印刷物の刊行
- (7)動物園付帯事業の経営及び受託
- (8)その他協会の目的達成上必要な事業

### 4 . 所管官庁に関する事項

静岡県教育委員会

### 5 . 主たる事務所の状況

主たる事務所：静岡県静岡市駿河区池田 1767 番地の 6

### 6 . 役員等に関する事項

役 職	氏 名	常勤・非常勤の別	現 職 等
理事長	上原安夫	常 勤	元静岡市葵区長
副理事長	稲葉定光	非常勤	静岡市 文化スポーツ部長
理事	石垣秀士	非常勤	静岡市子供会世話人連合会会長
理事	生子哲男	非常勤	静岡市獣医師会会長

理事	三浦徳一	非常勤	学識経験者
理事	森 眞悟	非常勤	学識経験者
理事	海野陽史	非常勤	静岡市校長会
理事	八木いくみ	非常勤	静岡市立幼稚園園長会会長
理事	鈴木教之	非常勤	静岡市 総務部長
理事	久朗津雅敬	非常勤	静岡市 財政部長
理事	藤浪芳朗	非常勤	静岡市 都市計画部長
監事	佐藤明彦	非常勤	静岡銀行呉服町支店理事支店長
監事	青木隆知	非常勤	公認会計士

#### 7. 役員会等に関する事項

開催年月日	議事事項
第1回 平成21年5月28日	1. 平成20年度事業報告及び各会計決算 2. 監査報告
第2回 平成21年12月18日	1. 平成21年度受託事業特別会計補正予算 2. 財団法人静岡市動物園協会職員給与規程の一部改正について
第3回 平成22年3月26日	1. 平成21年度本会計補正予算 2. 平成21年度収益事業特別会計補正予算 3. 平成22年度事業計画 4. 平成22年度本会計予算 5. 平成22年度受託事業特別会計予算 6. 平成22年度収益事業特別会計予算 7. 財団法人静岡市動物園協会職員給与規程の一部改正について

#### 8. 職員に関する事項

職 員 数			前期末比増減	平均年齢	平均勤続年数
		うち静岡市OB			
男 子	18名	( 2 )	2名	42.3歳	12.1年
女 子	9名	( 0 )	1名	47.3歳	9.1年
合計又は平均	27名	( 2 )	3名	44.0歳	11.1年

#### 9. 職員給与の支給状況

職員数	平均給与支給額	平均年齢
27名	443万円	44.0歳

10. 収支及び正味財産増減の状況並びに財産の状態の推移

単位：千円

事業年度	19年度 3月期	20年度 3月期	21年度 3月期
前期繰越収支差額	22,249	17,054	16,552
当期収入合計	322,861	316,018	327,965
当期支出合計	328,055	316,519	318,056
当期収支差額	5,195	501	9,909
次期繰越収支差額	17,054	16,552	26,461
資産合計	154,302	171,685	178,035
負債合計	81,492	89,968	83,054
正味財産	72,810	81,717	94,981

(注) 各項目の表示価額は、内部取引消去後の価額を表示している。

事業の状況

(1) 事業の実施状況

総括事項

平成21年度の有料入園者数は255,087人で、前年度との比較で18,252人(6.7%)下回る結果となった。また、無料入園者229,227人を含めた総入園者数は、484,314人であった。昭和44年8月1日の開園から40年を迎えた12月23日には来園者2,500万人を達成した。

団体入園の実績は、静岡市内からの来園が全体の63%を占め、次いで県西部(天竜川以東)地区21%、東部地区10%であった。また、浜松・横浜・山梨方面などその他の地区からの来園も6%を占めるなど幅広い地域からの来園が確認された。

公益事業では、日本平動物園の後援を受け日本平動物園ガイドボランティアと協働して参加型プログラム「めざせ!動物園博士」及び新事業「動物園親子教室」のワークショップを実施した。

受託事業では、動物園の整備事業に伴い大型の遊戯施設が一部撤去されたことから施設使用料の徴収額が大幅に減少した。

収益事業では、来園者の要望の多いオリジナル商品の充実を図るため、日本平動物園の人気者ホッキョクグマ「ロッキー」の写真コンテスト入選作品を使用したオリジナルクリアファイルを作成販売した。

## (2) 公益事業

動物園事業の発展振興をはかり、あわせて動物の愛護思想を普及することを目的とし、次の各種事業を実施した。

### 動物園関係事業の推進

#### めざせ！動物園博士

実施日	実施区分	実施内容	参加者
8月23日	第4回入門コース	動物園を一周するクイズラリー	20組 73名
9月20日・21日	第3回専門コース	いつだって親は大変！ ～動物の子育てと成長について～	46名
3月21日・22日	第4回専門コース	現代版「ノアの箱船」 ～絶滅危惧種と種の保存について～	47名

#### 動物園親子教室

実施日	実施区分	実施内容	参加者
1月17日	ワークショップ	絵本・紙しばい 動物クイズ・工作 動物見学	16組 46名

#### 動物慰霊祭

実施日	実施内容等
9月23日	過去1年の死亡動物の慰霊・名簿納め(48種67点)

#### 開園40周年記念

実施日	実施内容等	
8月1日	記念うちわプレゼント	ボール製うちわ 4色印刷 3,000枚
	写真集作成	本文56頁+表紙4頁 計60頁 150部
8月1日から 8月31日まで	記念バッチプレゼント	サマーカーニバル期間中の来園者先着40名にオリジナルバッチをプレゼント

#### 秋の日本平動物園写生大会

実施期間	参加者数	実施内容等
10月10日から 11月8日まで	584名 (入賞者30名) (入選者24名)	趣旨 描写能力の向上及び動物愛護精神の高揚 会場 静岡市立日本平動物園

#### 日本平動物園ホッキョクグマ「ロッキー写真コンテスト」

実施期間	参加者数	実施内容等
11月22日から 12月10日まで	36名 96点 (特選1点) (準特選2点) (入選4点)	日本平動物園の人気者ホッキョクグマ「ロッキー」の写真コンテストを実施した。また、入選作品を使用したクリアファイルを作成した。

### 正月来園者イベント

実施日	実施内容等	
1月2日 1月3日	干支の置物プレゼン ト	寅年にあたりトラの置物をプレゼン ト
1月11日	もちつき大会	来園者参加のもちつき大会実施

### 来園記念スタンプ等作成

作成物	実施内容等
来園記念スタンプ デザイン横断幕	「猛獣館299」のオープンに伴い記念ス タンプ及びスタンプシートを作成した。
「猛獣館299」オープン記念スタンプ	
「猛獣館299」オープン記念スタンプシート	

### 入園者増対策事業

区分	引換実績	実施内容等
平成21年度 (平成20年度)	64件 (55件)	雨の日及び平日の来園者にポイントカードを配布して、ポイ ントに応じてオリジナルグッズをプレゼントした。

### 動物愛好者団体との連携

日本平動物園内に設置した世界自然保護基金(WWF)ジャパンのパンダボックスによる園内の募金額は、95,631円で昭和47年からの募金累計額は8,514,727円となった。

### 広報宣伝

#### 機関誌(Zooしずおか)発行 年2回×各2,000部

号数	内容
第67号(夏) 号	日本平動物園40年の歴史/更なる発展をする日本平動物園 動物園ニュース でっきぶらし通信 平成21年度 写生コンクール/フォトコンテスト 動物園協会だより N・Z・G・Vガイドボランティア・友の会だより・編集後記
第68号(冬) 号	たいらちゃんが行く!! 突撃インタビュー ~夜行性館編~ 動物園ニュース 秋の写生大会 でっきぶらし通信 動物園の歴史を探る!! Zooしずおかサルベージ めざせ! 動物園博士 おすすめの本を紹介します N・Z・G・Vガイドボランティア・友の会だより・編集後記

### 動物カレンダーの作成及びプレゼント

作成部数	仕様	内容	実施日
3,000部	B4版・7頁 カラー写真 8点 イラスト 1点	先着 400組に 2010年オリジナルカレンダーをプレゼントした。また、近隣市町村の幼稚園及び保育園へ 728部を送付した。	12月13日 12月20日

#### バス車内及び駅構内ポスター掲出

掲出先		掲出物
路線バス車内	山梨交通 40台 富士急行 60台	春の動物園まつりポスター
JR駅構内	JR東海エリア 浜松ほか8駅 JR東日本エリア 熱海ほか1駅	春の動物園まつりポスター

#### 観光マップ広告掲載

掲載物	配布場所
静岡市観光パンフレット「旅ナビ静岡」	静岡市観光コンベンション協会、静岡駅 観光案内所、清水駅前観光案内所等
わお！高速道路マップ 静岡県駿河路エリア	東名高速道路主要サービスエリア

#### 「猛獣館299」オープン告知イベント

実施日	場 所	内 容
3月6日・7日	青葉シンボルロード	猛獣館紹介 動物園協会事業紹介 ガイドボランティア 工作・紙しばいコーナー

(3) 受託事業

静岡市立日本平動物園園内管理業務及び入園料等徴収事務を受託し、利用者が施設を快適に利用できるよう次の業務を実施した。

入園者に対する売改札及び案内業務

駐車場の運営

遊戯施設の運営

動物園内清掃(動物収容施設を除く)

入園料等徴収事務

入園料等徴収事務により利用者から徴収した入園料及び施設使用料は次のとおりである。  
なお、徴収金額は全額静岡市へ納付した。

1. 駐車場使用料の徴収

内訳	区 分	使用料		台 数	金 額
	大型車	1台	1,050円	624台	655,200円
普通車	1台	400円	120,139台	48,055,600円	
	計		120,763台	48,710,800円	

2. 入園料の徴収

内訳	区 分	使用料		人 数	金 額
	大人(個人)	1人	500円	245,255人	122,627,500円
大人(団体)	1人	400円	9,832人	3,932,800円	
	計		255,087人	126,560,300円	

3. 遊具使用料の徴収

内訳	区 分	使用料		回 数	金 額
	電動遊具	1回	100円	143,526回	14,352,600円
自動遊具	1回	100円	79,693回	7,969,300円	
回数券(22枚綴)	1冊	1,000円	11,515冊	11,515,000円	
	計			33,836,900円	

4. オートチェア及びローラースライダー使用料の徴収

内訳	区 分	使用料		回 数	金 額
	オートチェア	大人	100円	173,521回	17,352,100円
小人		50円	49,695回	2,484,750円	
ローラースライダー	大人	200円	65,329回	13,065,800円	
	小人	100円	37,932回	3,793,200円	
50円券	1枚	50円	2,776枚	138,800円	
	計			36,834,650円	

合 計	245,942,650円
-----	--------------

(静岡市収入金)

(4)収益事業

利用者の利便を図るために、次の事業を実施した。

収益事業収入

販売事業収入		
売店事業収入		<u>63,160,460 円</u>
飲物、菓子、玩具等の売上収入		
売店	4ヶ所	
臨時売店	1ヶ所	
自動販売機	6台	
食堂事業収入		<u>22,412,900 円</u>
そば、ラーメン、カレーライス等の売上収入		
レストハウス	1ヶ所	
自動販売機	1台	
自動販売機等事業収入		<u>9,078,836 円</u>
自動販売機	17台	
山頂自販機コーナーほか		
移動販売車	1台	
その他		
その他の事業収入		<u>1,258,050 円</u>
ベビーカー貸出	2ヶ所	
望遠鏡設置	6台	
コインロッカー設置	1ヶ所	
ガイドマシン(動物説明機)設置	24台	
	合 計	<u>95,910,246 円</u>

# 本会計正味財産増減計算書

平成21年4月1日から平成22年3月31日まで

科 目	当年度	前年度	増 減
一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	30,000	0	30,000
他会計からの繰入額			
受託事業特別会計からの繰入額	24,090,000	24,413,000	323,000
収益事業特別会計からの繰入額	4,500,000	39,000	4,461,000
受取会費			
受取会費	66,500	82,000	15,500
雑収益			
受取利息	17,954	21,325	3,371
雑収益	276,000	4,677,474	4,401,474
経常収益計	28,980,454	29,232,799	252,345
(2) 経常費用			
事業費			
催事費	373,944	54,800	319,144
広報宣伝費	1,887,369	1,934,551	47,182
施設整備費	0	220,605	220,605
行事諸費	295,621	114,423	181,198
調査研究費	152,630	273,135	120,505
委託料	0	172,000	172,000
雑費	0	116,388	116,388
管理費			
役員報酬	4,974,291	3,958,244	1,016,047
職員給料	7,063,200	6,981,600	81,600
諸手当	4,251,008	4,944,683	693,675
退職給付費用	88,250	0	88,250
福利厚生費	2,226,832	2,083,413	143,419
報償費	517,500	517,500	0
旅費研修費	163,865	63,290	100,575
備品費	111,910	50,710	61,200
消耗品費	218,235	246,390	28,155
被服費	44,310	57,015	12,705
印刷費	188,250	155,425	32,825
修繕費	248,639	131,884	116,755
通信運搬費	195,139	203,982	8,843
食糧費	20,080	51,450	31,370
手数料	8,850	11,250	2,400
委託料	80,220	157,500	77,280
賃借料	502,452	535,226	32,774
負担金	200,000	123,000	77,000
補助金	0	268,640	268,640
保険料	193,690	180,860	12,830
租税公課	79,300	2,059,000	1,979,700
雑費	26,990	120,250	93,260
減価償却費	193,777	216,069	22,292
経常費用計	24,306,352	26,003,283	1,696,931
当期経常増減額	4,674,102	3,229,516	1,444,586

科 目	当年度	前年度	増 減
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損			
什器備品除却損	0	40,488	40,488
経常外費用計	0	40,488	40,488
当期経常外増減額	0	40,488	40,488
当期一般正味財産増減額	4,674,102	3,189,028	1,485,074
一般正味財産期首残高	57,206,947	54,017,919	3,189,028
一般正味財産期末残高	61,881,049	57,206,947	4,674,102
指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
正味財産期末残高	61,881,049	57,206,947	4,674,102

# 本 会 計 貸 借 対 照 表

平成22年3月31日現在

科 目	当年度	前年度	増 減
資産の部			
1 流動資産			
現金預金	7,962,670	4,896,282	3,066,388
未収金	0	453,315	453,315
流動資産合計	7,962,670	5,349,597	2,613,073
2 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産預金	10,000,000	10,000,000	0
基本財産合計	10,000,000	10,000,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	88,250	0	88,250
減価償却引当資産	5,648,258	5,029,756	618,502
運営資金積立資産	30,297,476	30,297,476	0
特定資産合計	36,033,984	35,327,232	706,752
(3) その他の固定資産			
建物及び付属設備	33,229	49,836	16,607
車両運搬具	77,666	99,337	21,671
什器備品	107,232	129,790	22,558
ソフトウェア	318,544	451,485	132,941
預託金	10,800	10,800	0
元入金	8,603,000	8,603,000	0
その他の固定資産合計	9,150,471	9,344,248	193,777
固定資産合計	55,184,455	54,671,480	512,975
資産合計	63,147,125	60,021,077	3,126,048
負債の部			
1 流動負債			
短期借入金	300,000	0	300,000
未払金	308,138	621,240	313,102
預り金	143,103	174,704	31,601
未払法人税等	426,585	2,018,186	1,591,601
流動負債合計	1,177,826	2,814,130	1,636,304
2 固定負債			
退職給付引当金	88,250	0	88,250
固定負債合計	88,250	0	88,250
負債合計	1,266,076	2,814,130	1,548,054
正味財産の部			
1 指定正味財産			
指定正味財産	0	0	0
指定正味財産合計	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	( 0)	( 0)	( 0)
(うち特定資産への充当額)	( 0)	( 0)	( 0)
2 一般正味財産			
一般正味財産	61,881,049	57,206,947	4,674,102
(うち基本財産への充当額)	( 10,000,000)	( 10,000,000)	( 0)
(うち特定資産への充当額)	( 35,945,734)	( 35,327,232)	618,502
正味財産合計	61,881,049	57,206,947	4,674,102
負債及び正味財産合計	63,147,125	60,021,077	3,126,048

# 本 会 計 財 産 目 録

平成22年3月31日現在

科 目	金	額
資産の部		
1 流動資産		
現金預金		
現金手許有高	176,873	
普通預金		
静岡銀行 呉服町支店( 1287209)	37,208	
静岡市農協 豊田支店( 0017326)	6,607,100	
当座預金		
静岡銀行 呉服町支店( 0004545)	217,222	
公社債投信		
日興コーディアル証券 静岡支店	924,267	
流動資産合計		7,962,670
2 固定資産		
(1) 基本財産		
基本財産預金		
静岡銀行 呉服町支店		
定期預金( 0430347)	10,000,000	
基本財産合計	10,000,000	
(2) 特定資産		
退職給付引当資産		
静岡市農協 豊田支店		
普通預金( 0017326)	88,250	
減価償却引当資産		
静岡市農協 豊田支店		
普通預金( 0017326)	2,204,658	
日興コーディアル証券 静岡支店		
公社債投信	3,443,600	
運営資金積立資産		
静岡銀行 呉服町支店		
普通預金( 1287209)	711,121	
静岡市農協 豊田支店		
普通預金( 0017326)	28,586,355	
日興コーディアル証券 静岡支店		
公社債投信	1,000,000	
特定資産合計	36,033,984	
(3) その他の固定資産		
建物及び付属設備	33,229	
車両運搬具	77,666	
什器備品	107,232	
ソフトウェア	318,544	
預託金(車両リサイクル預託金)	10,800	
元入金(収益事業特別会計への出資金)	8,603,000	
その他の固定資産合計	9,150,471	
固定資産合計		55,184,455
資産合計		63,147,125

科 目	金 額	
負債の部		
1 流動負債		
短期借入金		
返済期限が貸借対照表日後1年以内の借入金	300,000	
未払金		
管理費に対する未払額	308,138	
預り金		
所得税	30,180	
市県民税	63,400	
労働保険料	17,718	
健康保険料	12,960	
厚生年金保険料	18,845	
未払法人税等	426,585	
流動負債合計		1,177,826
2 固定負債		
退職給付引当金	88,250	
固定負債合計		88,250
負債合計		1,266,076
正味財産		61,881,049

## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

#### (1) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産 定率法による減価償却を実施している。

無形固定資産 定額法による減価償却を実施している。

#### (3) 引当金の計上基準

職員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき、当期末において発生していると認められる額を計上している。

#### (2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

### 2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
基本財産預金	10,000,000	0	0	10,000,000
小 計	10,000,000	0	0	10,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	0	88,250	0	88,250
減価償却引当資産	5,029,756	618,502	0	5,648,258
運営資金積立資産	30,297,476	0	0	30,297,476
小 計	35,327,232	706,752	0	36,033,984
合 計	45,327,232	706,752	0	46,033,984

### 3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
基本財産預金	10,000,000	0	10,000,000	0
小 計	10,000,000	0	10,000,000	0
特定資産				
退職給付引当資産	88,250	0	0	88,250
減価償却引当資産	5,648,258	0	5,648,258	0
運営資金積立資産	30,297,476	0	30,297,476	0
小 計	36,033,984	0	35,945,734	88,250
合 計	46,033,984	0	45,945,734	88,250

### 4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物及び付属設備	1,661,000	1,627,771	33,229
車両運搬具	2,048,264	1,970,598	77,666
什器備品	1,227,550	1,120,318	107,232
ソフトウェア	1,248,115	929,571	318,544
合 計	6,184,929	5,648,258	536,671

# 本 会 計 収 支 計 算 書

平成21年4月1日から平成22年3月31日まで

科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
事業活動収支の部				
1 事業活動収入				
基本財産運用収入				
基本財産利息収入	100,000	30,000	70,000	
会費収入				
会費収入	150,000	66,500	83,500	
他会計からの繰入金収入				
受託事業特別会計からの繰入金収入	23,881,000	23,881,000	0	
収益事業特別会計からの繰入金収入	4,500,000	4,500,000	0	
雑収入				
受取利息	50,000	17,954	32,046	
雑収入	300,000	276,000	24,000	
事業活動収入計	28,981,000	28,771,454	209,546	
2 事業活動支出				
事業費支出				
催事費支出	1,212,000	373,944	838,056	
広報宣伝費支出	1,888,000	1,887,369	631	
施設整備費支出	250,000	0	250,000	
行事諸費支出	640,000	295,621	344,379	
調査研究費支出	200,000	152,630	47,370	
事業費支出計	4,190,000	2,709,564	1,480,436	
管理費支出				
役員報酬支出	5,673,000	4,974,291	698,709	
職員給料支出	7,158,000	7,063,200	94,800	
諸手当支出	5,060,000	4,251,008	808,992	
福利厚生費支出	2,531,000	2,226,832	304,168	
報償費支出	768,000	517,500	250,500	
旅費研修費支出	256,000	163,865	92,135	
備品費支出	112,000	111,910	90	
消耗品費支出	219,000	218,235	765	
被服費支出	63,000	44,310	18,690	
印刷費支出	189,000	188,250	750	
修繕費支出	265,000	248,639	16,361	
通信運搬費支出	196,000	195,139	861	
食糧費支出	75,000	20,080	54,920	
手数料支出	10,000	8,850	1,150	
賃借料支出	585,000	502,452	82,548	
負担金支出	202,000	200,000	2,000	
保険料支出	215,000	193,690	21,310	
委託料支出	81,000	80,220	780	
租税公課支出	84,000	79,300	4,700	
雑支出	50,000	26,990	23,010	
管理費支出計	23,792,000	21,314,761	2,477,239	
事業活動支出計	27,982,000	24,024,325	3,957,675	
事業活動収支差額	999,000	4,747,129	3,748,129	

科 目	予算額	決算額	差異	備 考
投資活動収支の部				
1 投資活動収入				
他会計からの繰入金収入				
受託事業特別会計からの繰入金収入	209,000	209,000	0	
投資活動収入計	209,000	209,000	0	
2 投資活動支出				
特定資産取得支出				
退職給付引当資産取得支出	89,000	88,250	750	
減価償却引当資産取得支出	619,000	618,502	498	
投資活動支出計	708,000	706,752	1,248	
投資活動収支差額	499,000	497,752	1,248	
予備費支出	500,000	0	500,000	
当期収支差額	0	4,249,377	4,249,377	
前期繰越収支差額	2,536,000	2,535,467	533	
次期繰越収支差額	2,536,000	6,784,844	4,248,844	

# 収支計算書に対する注記

## 1. 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、未収金、短期借入金、未払金、預り金、未払法人税等を含めている。なお、前期末及び当期末残高は、下記2. に記載するとおりである。

## 2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

科 目	前期末残高	当期末残高
現金預金	4,896,282	7,962,670
未収金	453,315	0
合 計	5,349,597	7,962,670
短期借入金	0	300,000
未払金	621,240	308,138
預り金	174,704	143,103
未払法人税等	2,018,186	426,585
合 計	2,814,130	1,177,826
次期繰越収支差額	2,535,467	6,784,844

## 3. 当初予算の補正及び科目間の流用について

### (1) 科目間の流用

単位: 千円

科 目	予算額	流用額	流用後予算額
事業費支出			
催事費支出	1,300	88	1,212
広報宣伝費支出	1,800	88	1,888
行事諸費支出	1,050	410	640
管理費支出			
職員給料支出	7,247	89	7,158
備品費支出	50	62	112
消耗品費支出	200	19	219
印刷費支出	165	24	189
修繕費支出	327	62	265
通信運搬費支出	193	3	196
委託料支出	70	11	81
賃借料支出	642	57	585
特定資産取得支出			
退職給付引当資産取得支出	0	89	89
減価償却引当資産取得支出	209	410	619

# 受託事業特別会計 正味財産増減計算書

平成21年4月1日から平成22年3月31日まで

科 目	当年度	前年度	増 減
一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
事業収益			
受託事業収益	209,895,000	212,100,000	2,205,000
雑収益			
雑収益	2,110	0	2,110
経常収益計	209,897,110	212,100,000	2,202,890
(2) 経常費用			
受託事業費			
職員給料	61,137,600	66,444,300	5,306,700
諸手当	41,260,589	47,171,349	5,910,760
退職給付費用	10,389,955	10,052,050	337,905
賃金	21,131,230	22,305,540	1,174,310
福利厚生費	17,037,669	18,320,917	1,283,248
旅費研修費	82,085	26,960	55,125
備品費	180,810	682,680	501,870
消耗品費	739,950	674,991	64,959
被服費	377,643	760,357	382,714
燃料費	303,932	418,666	114,734
修繕費	152,774	138,285	14,489
手数料	511,480	450,950	60,530
保険料	385,930	432,590	46,660
租税公課	20,321,969	20,681,925	359,956
減価償却費	1,001,248	0	1,001,248
他会計への繰出額			
本会計への繰出額	24,090,000	24,413,000	323,000
経常費用計	199,104,864	212,974,560	13,869,696
当期経常増減額	10,792,246	874,560	11,666,806
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	10,792,246	874,560	11,666,806
一般正味財産期首残高	917,588	1,792,148	874,560
一般正味財産期末残高	11,709,834	917,588	10,792,246
指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
正味財産期末残高	11,709,834	917,588	10,792,246

# 受託事業特別会計 貸借対照表

平成22年3月31日現在

科 目	当年度	前年度	増 減
資産の部			
1 流動資産			
現金預金	32,813,792	27,652,198	5,161,594
流動資産合計	32,813,792	27,652,198	5,161,594
2 固定資産			
(1) 特定資産			
退職給付引当資産	36,279,085	35,080,260	1,198,825
特定資産合計	36,279,085	35,080,260	1,198,825
(2) その他の固定資産			
建物及び付属設備	4,994,252	5,995,500	1,001,248
その他の固定資産合計	4,994,252	5,995,500	1,001,248
固定資産合計	41,273,337	41,075,760	197,577
資産合計	74,087,129	68,727,958	5,359,171
負債の部			
1 流動負債			
未払金	11,631,551	10,178,367	1,453,184
預り金	583,554	776,937	193,383
仮受金	114,500	128,000	13,500
未払法人税等	13,768,605	11,594,756	2,173,849
流動負債合計	26,098,210	22,678,060	3,420,150
2 固定負債			
退職給付引当金	36,279,085	45,132,310	8,853,225
固定負債合計	36,279,085	45,132,310	8,853,225
負債合計	62,377,295	67,810,370	5,433,075
正味財産の部			
1 指定正味財産			
	0	0	0
指定正味財産合計	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	( 0)	( 0)	( 0)
(うち特定資産への充当額)	( 0)	( 0)	( 0)
2 一般正味財産	11,709,834	917,588	10,792,246
(うち基本財産への充当額)	( 0)	( 0)	( 0)
(うち特定資産への充当額)	( 0)	( 0)	( 0)
正味財産合計	11,709,834	917,588	10,792,246
負債及び正味財産合計	74,087,129	68,727,958	5,359,171

受託事業特別会計 財産目録

平成22年3月31日現在

科 目	金 額	額
資産の部		
1 流動資産		
現金預金		
現金手許有高	2,044,079	
普通預金		
静岡市農協 豊田支店( 0128931)	30,769,713	
流動資産合計		32,813,792
2 固定資産		
(1) 特定資産		
退職給付引当資産		
静岡市農協 豊田支店		
定期預金( 16603574)	5,000,000	
静岡市農協 豊田支店		
普通預金( 0128931)	31,279,085	
特定資産合計	36,279,085	
(2) その他の固定資産		
建物及び付属設備	4,994,252	
その他の固定資産合計	4,994,252	
固定資産合計		41,273,337
資産合計		74,087,129
負債の部		
1 流動負債		
未払金		
受託事業費に対する未払額	11,631,551	
預り金		
所得税	115,092	
市県民税	296,100	
労働保険料	172,362	
仮受金		
日本平動物園入園料	114,500	
未払法人税等	13,768,605	
流動負債合計		26,098,210
2 固定負債		
退職給付引当金	36,279,085	
固定負債合計		36,279,085
負債合計		62,377,295
正味財産		11,709,834

# 財務諸表に対する注記

## 1. 重要な会計方針

### (1) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産 定率法（ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物（付属設備を除く。）は定額法）を採用している。

### (2) 引当金の計上基準

職員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき、当期末において発生していると認められる額を計上している。

なお、退職給付債務は期末自己都合要支給額に基づいて計算し、会計基準変更時差異は、10年で費用処理している。

以上の結果、当期末における退職給付引当金は、期末要支給額の54%相当額である。

### (3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

## 2. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
退職給付引当資産	35,080,260	20,442,005	19,243,180	36,279,085
合 計	35,080,260	20,442,005	19,243,180	36,279,085

## 3. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科 目	当期末残高	（うち指定正味財産からの 充当額）	（うち一般正味財 産からの充当額）	（うち負債に対応 する額）
特定資産				
退職給付引当資産	36,279,085	0	0	36,279,085
合 計	36,279,085	0	0	36,279,085

## 4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物及び付属設備	5,995,500	1,001,248	4,994,252
合 計	5,995,500	1,001,248	4,994,252

## 5. 退職給付関係

### (1) 採用している退職給付制度の概要

確定給付型の制度として退職一時金制度を設けている。

### (2) 退職給付債務及びその内訳

退職給付債務	67,019,245
会計基準変更時差異の未処理額	30,740,160
退職給付引当金（ + ）	36,279,085

### (3) 退職給付費用に関する事項

勤務費用	6,547,435
会計基準変更時差異の費用処理額	3,842,520
退職給付費用（ + ）	10,389,955

### (4) 退職給付債務等の計算の基礎に関する事項

退職給付債務の計算に当たっては、退職一時金制度に基づく期末自己都合要支給額を基礎として計算している。

### (5) 会計基準変更時差異の処理年数 10年

# 受託事業特別会計収支計算書

平成21年4月1日から平成22年3月31日まで

科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
事業活動収支の部				
1 事業活動収入				
受託事業収入				
静岡市からの受託料収入	212,037,000	209,895,000	2,142,000	
雑収入				
雑収入	0	2,110	2,110	
事業活動収入計	212,037,000	209,897,110	2,139,890	
2 事業活動支出				
受託事業費支出				
職員給料支出	61,520,000	61,137,600	382,400	
諸手当支出	41,717,000	41,260,589	456,411	
退職給付支出	19,244,000	19,243,180	820	
賃金支出	21,280,000	21,131,230	148,770	
福利厚生費支出	18,295,000	17,037,669	1,257,331	
旅費研修費支出	106,000	82,085	23,915	
備品費支出	200,000	180,810	19,190	
消耗品費支出	740,000	739,950	50	
被服費支出	646,000	377,643	268,357	
燃料費支出	425,000	303,932	121,068	
修繕費支出	380,000	152,774	227,226	
手数料支出	593,000	511,480	81,520	
保険料支出	400,000	385,930	14,070	
租税公課支出	21,202,000	20,321,969	880,031	
受託事業費支出計	186,748,000	182,866,841	3,881,159	
他会計への繰入金支出				
本会計への繰入金支出	24,090,000	24,090,000	0	
事業活動支出計	210,838,000	206,956,841	3,881,159	
事業活動収支差額	1,199,000	2,940,269	1,741,269	
投資活動収支の部				
1 投資活動収入				
特定資産取崩収入				
退職給付引当資産取崩収入	19,244,000	19,243,180	820	
投資活動収入計	19,244,000	19,243,180	820	
2 投資活動支出				
特定資産取得支出				
退職給付引当資産取得支出	20,443,000	20,442,005	995	
投資活動支出計	20,443,000	20,442,005	995	
投資活動収支差額	1,199,000	1,198,825	175	
当期収支差額	0	1,741,444	1,741,444	
前期繰越収支差額	4,975,000	4,974,138	862	
次期繰越収支差額	4,975,000	6,715,582	1,740,582	

# 収支計算書に対する注記

## 1. 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、未払金、預り金、仮受金、未払法人税等を含めている。なお、前期末及び当期末残高は、下記2.に記載するとおりである。

## 2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

科 目	前期末残高	当期末残高
現金預金	27,652,198	32,813,792
合 計	27,652,198	32,813,792
未払金	10,178,367	11,631,551
預り金	776,937	583,554
仮受金	128,000	114,500
未払法人税等	11,594,756	13,768,605
合 計	22,678,060	26,098,210
次期繰越収支差額	4,974,138	6,715,582

## 3. 当初予算の補正及び科目間の流用について

### (1) 当初予算の補正

当初予算の補正額については、次に記載するとおりである。

単位:千円

科 目	当初予算額	補正額	補正後予算額
受託事業費支出			
退職給付支出	5,506	13,738	19,244
特定資産取崩収入			
退職給付引当資産取崩収入	5,506	13,738	19,244

### (2) 科目間の流用

単位:千円

科 目	予算額	流用額	流用後予算額
受託事業費支出			
職員給料支出	65,020	3,500	61,520
諸手当支出	46,717	5,000	41,717
賃金支出	26,280	5,000	21,280
福利厚生費支出	19,732	1,437	18,295
消耗品費支出	700	40	740
修繕費支出	420	40	380
特定資産取得支出			
退職給付引当資産取得支出	5,506	14,937	20,443

# 収益事業特別会計 正味財産増減計算書

平成21年4月1日から平成22年3月31日まで

科 目	当年度	前年度	増 減
一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
事業収益			
収益事業収益	95,910,246	97,953,521	2,043,275
雑収益			
雑収益	61,844	44,393	17,451
経常収益計	95,972,090	97,997,914	2,025,824
(2) 経常費用			
営業費			
売店費	41,257,406	43,612,913	2,355,507
食堂費	12,784,883	13,684,149	899,266
営業管理費			
職員給料	7,128,000	6,618,000	510,000
諸手当	4,643,063	4,832,567	189,504
退職給付費用	391,650	373,885	17,765
賃金	8,275,040	10,735,530	2,460,490
福利厚生費	2,372,577	2,195,609	176,968
備品費	925,100	658,465	266,635
消耗品費	39,362	71,009	31,647
被服費	145,320	197,600	52,280
修繕費	6,930	206,485	199,555
委託料	1,405,860	765,240	640,620
負担金	4,330	14,530	10,200
保険料	44,200	46,900	2,700
電話料	440	0	440
租税公課	5,240,131	6,805,375	1,565,244
雑費	3,650	26,830	23,180
減価償却費	387,051	486,147	99,096
他会計への繰出額			
本会計への繰出額	4,500,000	39,000	4,461,000
経常費用計	89,554,993	91,370,234	1,815,241
当期経常増減額	6,417,097	6,627,680	210,583
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損			
什器備品除却損	15,817	35,601	19,784
経常外費用計	15,817	35,601	19,784
当期経常外増減額	15,817	35,601	19,784
当期一般正味財産増減額	6,401,280	6,592,079	190,799
一般正味財産期首残高	23,591,919	16,999,840	6,592,079
一般正味財産期末残高	29,993,199	23,591,919	6,401,280
指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
正味財産期末残高	29,993,199	23,591,919	6,401,280

# 収益事業特別会計 貸借対照表

平成22年3月31日現在

科 目	当年度	前年度	増 減
資産の部			
1 流動資産			
現金預金	23,562,154	18,146,298	5,415,856
未収金	844,269	455,967	388,302
商品	1,571,102	1,321,381	249,721
短期貸付金	300,000	0	300,000
流動資産合計	26,277,525	19,923,646	6,353,879
2 固定資産			
(1) 特定資産			
退職給付引当資産	6,392,945	8,441,246	2,048,301
減価償却引当資産	7,165,449	5,800,000	1,365,449
設備投資積立資産	9,172,000	7,672,000	1,500,000
特定資産合計	22,730,394	21,913,246	817,148
(2) その他の固定資産			
建物及び付属設備	330,533	482,156	151,623
什器備品	345,503	596,748	251,245
出資金	20,000	20,000	0
その他の固定資産合計	696,036	1,098,904	402,868
固定資産合計	23,426,430	23,012,150	414,280
資産合計	49,703,955	42,935,796	6,768,159
負債の部			
1 流動負債			
買掛金	4,035,337	3,610,307	425,030
未払金	4,753,737	1,743,172	3,010,565
預り金	121,177	68,505	52,672
未払法人税等	4,407,560	5,458,908	1,051,348
流動負債合計	13,317,811	10,880,892	2,436,919
2 固定負債			
退職給付引当金	6,392,945	8,462,985	2,070,040
固定負債合計	6,392,945	8,462,985	2,070,040
負債合計	19,710,756	19,343,877	366,879
正味財産の部			
1 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	( 0)	( 0)	( 0)
(うち特定資産への充当額)	( 0)	( 0)	( 0)
2 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	( 0)	( 0)	( 0)
(うち特定資産への充当額)	( 16,337,449)	( 13,472,000)	( 2,865,449)
正味財産合計	29,993,199	23,591,919	6,401,280
負債及び正味財産合計	49,703,955	42,935,796	6,768,159

# 収益事業特別会計 財産目録

平成22年3月31日現在

科 目	金 額	額
資産の部		
1 流動資産		
現金預金		
現金手許有高	1,458,131	
普通預金		
静岡県農協 豊田支店( 0082192)	22,104,023	
未収金		
自動販売機等事業収入に対する未収額	841,149	
雑収入に対する未収額	3,120	
商品		
棚卸商品	1,571,102	
短期貸付金		
返済期限が貸借対照表日後1年以内の貸付金	300,000	
流動資産合計		26,277,525
2 固定資産		
(1) 特定資産		
退職給付引当資産		
静岡県農協 豊田支店		
定期預金( 16603596)	5,000,000	
静岡県農協 豊田支店		
普通預金( 0082192)	1,392,945	
減価償却引当資産		
静岡県農協 豊田支店		
普通預金( 0082192)	7,165,449	
設備投資積立資産		
静岡県農協 豊田支店		
普通預金( 0082192)	9,172,000	
特定資産合計	22,730,394	
(2) その他の固定資産		
建物及び付属設備	330,533	
什器備品	345,503	
出資金		
たばこ販売組合への出資金	20,000	
その他の固定資産合計	696,036	
固定資産合計		23,426,430
資産合計		49,703,955

科 目	金 額	
負債の部		
1 流動負債		
買掛金		
売店商品仕入額	3,161,615	
食堂材料仕入額	873,722	
未払金		
営業費に対する未払額	271,456	
営業管理費に対する未払額	4,482,281	
預り金		
所得税	16,030	
市県民税	34,400	
労働保険料	23,637	
望遠鏡使用料	47,110	
未払法人税等	4,407,560	
流動負債合計		13,317,811
2 固定負債		
退職給付引当金	6,392,945	
固定負債合計		6,392,945
負債合計		19,710,756
正味財産		29,993,199

## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

#### (1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産の評価基準及び評価方法については、最終仕入原価法によっている。

#### (2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産 定率法による減価償却を実施している。

#### (3) 引当金の計上基準

職員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき、当期末において発生していると認められる額を計上している。

#### (4) リース取引の処理方法

・ファイナンス・リース取引

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・

リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

#### (5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

### 2. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
退職給付引当資産	8,441,246	413,389	2,461,690	6,392,945
減価償却引当資産	5,800,000	1,365,449	0	7,165,449
設備投資積立資産	7,672,000	1,500,000	0	9,172,000
合 計	21,913,246	3,278,838	2,461,690	22,730,394

### 3. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
特定資産				
退職給付引当資産	6,392,945	0	0	6,392,945
設備投資積立資産	7,165,449	0	7,165,449	0
減価償却引当資産	9,172,000	0	9,172,000	0
合 計	22,730,394	0	16,337,449	6,392,945

### 4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物及び付属設備	1,814,900	1,484,367	330,533
什器備品	6,026,585	5,681,082	345,503
合 計	7,841,485	7,165,449	676,036

## 5. ファイナンス・リース取引関係

### (1) リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額及び期末残高相当額

	工具器具備品	工具器具備品	小 計	工具器具備品	工具器具備品	小 計	合 計
取得価額相当額	3,020,000	1,360,000	4,380,000	2,117,000	2,100,000	4,217,000	8,597,000
減価償却累計額相当額	2,063,668	952,000	3,015,668	2,117,000	385,000	2,502,000	5,517,668
期末残高相当額	956,332	408,000	1,364,332	0	1,715,000	1,715,000	3,079,332

### (2) 未経過リース料期末残高相当額

未経過リース料期末残高相当額	工具器具備品	工具器具備品	小 計	工具器具備品	工具器具備品	小 計	合 計
1年以内	639,906	287,586	927,492	0	394,000	394,000	1,321,492
1年超	385,814	147,927	533,741	0	1,353,379	1,353,379	1,887,120
合 計	1,025,720	435,513	1,461,233	0	1,747,379	1,747,379	3,208,612

### (3) 当期の支払リース料、減価償却費相当額及び支払利息相当額

	工具器具備品	工具器具備品	小 計	工具器具備品	工具器具備品	小 計	合 計
支払リース料	670,800	299,208	970,008	40,000	436,700	476,700	1,446,708
減価償却費相当額	604,000	272,000	876,000	35,283	385,000	420,283	1,296,283
支払利息相当額	57,206	22,372	79,578	173	84,080	84,253	163,831

(4) 減価償却費相当額の算定方法は、定額法によっている。

(5) 利息相当額の算定方法は、リース料総額とリース資産計上価額との差額を利息相当額とし、各期への配分方法については、利息法によっている。

# 収益事業特別会計収支計算書

平成21年4月1日から平成22年3月31日まで

科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
事業活動収支の部				
1 事業活動収入				
収益事業収入				
販売事業収入	101,900,000	94,652,196	7,247,804	
売店事業収入	66,900,000	63,160,460	3,739,540	
食堂事業収入	25,000,000	22,412,900	2,587,100	
自動販売機等事業収入	10,000,000	9,078,836	921,164	
その他の事業収入	1,300,000	1,258,050	41,950	
その他の収入	1,300,000	1,258,050	41,950	
収益事業収入計	103,200,000	95,910,246	7,289,754	
雑収入				
雑収入	50,000	61,844	11,844	
事業活動収入計	103,250,000	95,972,090	7,277,910	
2 事業活動支出				
営業費支出				
売店費支出	43,800,000	41,257,406	2,542,594	
商品費支出	40,600,000	38,390,068	2,209,932	
光熱水費支出	1,200,000	1,111,409	88,591	
賃借料支出	1,500,000	1,493,700	6,300	
売店雑支出	500,000	262,229	237,771	
食堂費支出	13,800,000	12,784,883	1,015,117	
材料費支出	8,946,000	8,232,450	713,550	
光熱水費支出	3,054,000	3,053,858	142	
賃借料支出	1,300,000	1,248,855	51,145	
食堂雑支出	500,000	249,720	250,280	
営業費支出計	57,600,000	54,042,289	3,557,711	
営業管理費支出				
職員給料支出	7,128,000	7,128,000	0	
諸手当支出	4,644,000	4,643,063	937	
退職給付支出	2,462,000	2,461,690	310	
賃金支出	11,636,000	8,275,040	3,360,960	
福利厚生費支出	2,600,000	2,372,577	227,423	
旅費研修費支出	190,000	0	190,000	
備品費支出	926,000	925,100	900	
消耗品費支出	100,000	39,362	60,638	
被服費支出	210,000	145,320	64,680	
修繕費支出	56,000	6,930	49,070	
食糧費支出	3,000	0	3,000	
委託料支出	1,406,000	1,405,860	140	
負担金支出	40,000	4,330	35,670	
保険料支出	48,000	44,200	3,800	
電話料支出	1,000	440	560	
租税公課支出	7,500,000	5,240,131	2,259,869	
雑支出	50,000	3,650	46,350	
営業管理費支出計	39,000,000	32,695,693	6,304,307	
他会計への繰入金支出				
本会計への繰入金支出	4,500,000	4,500,000	0	
事業活動支出計	101,100,000	91,237,982	9,862,018	
事業活動収支差額	2,150,000	4,734,108	2,584,108	

科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
投資活動収支の部				
1 投資活動収入				
特定資産取崩収入				
退職給付引当資産取崩収入	2,400,000	2,461,690	61,690	
投資活動収入計	2,400,000	2,461,690	61,690	
2 投資活動支出				
特定資産取得支出				
退職給付引当資産取得支出	1,050,000	413,389	636,611	
減価償却引当資産取得支出	1,500,000	1,365,449	134,551	
設備投資積立資産取得支出	1,500,000	1,500,000	0	
投資活動支出計	4,050,000	3,278,838	771,162	
投資活動収支差額	1,650,000	817,148	832,852	
予備費支出	500,000	0	500,000	
当期収支差額	0	3,916,960	3,916,960	
前期繰越収支差額	9,043,000	9,042,754	246	
次期繰越収支差額	9,043,000	12,959,714	3,916,714	

## 収支計算書に対する注記

### 1. 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、未収金、商品、短期貸付金、未払金、預り金、買掛金、未払法人税等を含めている。なお、前期末及び当期末残高は、下記2.に記載するとおりである。

### 2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

科 目	前期末残高	当期末残高
現金預金	18,146,298	23,562,154
未収金	455,967	844,269
商品	1,321,381	1,571,102
短期貸付金	0	300,000
合 計	19,923,646	26,277,525
買掛金	3,610,307	4,035,337
未払金	1,743,172	4,753,737
預り金	68,505	121,177
未払法人税等	5,458,908	4,407,560
合 計	10,880,892	13,317,811
次期繰越収支差額	9,042,754	12,959,714

### 3. 当初予算の補正及び科目間の流用について

#### (1) 当初予算の補正

当初予算の補正額については、次に記載するとおりである。

単位:千円

科 目	当初予算額	補正額	補正後予算額
収益事業収入			
販売事業収入			
売店事業収入	68,900	2,000	66,900
食堂事業収入	26,000	1,000	25,000
自販機等事業収入	6,500	3,500	10,000
特定資産取得支出			
設備投資積立資産取得支出	1,000	500	1,500

#### (2) 科目間の流用

単位:千円

科 目	予算額	流用額	流用後予算額
営業費支出			
食堂費支出			
材料費支出	9,500	554	8,946
光熱水費支出	2,500	554	3,054
営業管理費支出			
職員給料支出	6,500	628	7,128
諸手当支出	4,500	144	4,644
退職給付支出	2,400	62	2,462
賃金支出	12,600	964	11,636
備品費支出	700	226	926
修繕費支出	320	264	56
食糧費支出	30	27	3
委託料支出	1,200	206	1,406
保険料支出	50	2	48
電話料支出	10	9	1

# 正味財産増減計算書 総括表

平成21年4月1日から平成22年3月31日まで

科 目	本会計	受託事業 特別会計	収益事業 特別会計	内部取引消去	合 計
一般正味財産増減の部					
1 経常増減の部					
(1) 経常収益					
基本財産受取利息	30,000				30,000
受託事業特別会計からの繰入額	24,090,000			24,090,000	0
収益事業特別会計からの繰入額	4,500,000			4,500,000	0
受取会費	66,500				66,500
受取利息	17,954				17,954
雑収益	276,000	2,110	61,844		339,954
受託事業収益		209,895,000			209,895,000
販売事業収益			94,652,196		94,652,196
その他の事業収益			1,258,050		1,258,050
経常収益計	28,980,454	209,897,110	95,972,090	28,590,000	306,259,654
(2) 経常費用					
催事費	373,944				373,944
広報宣伝費	1,887,369				1,887,369
行事諸費	295,621				295,621
調査研究費	152,630				152,630
役員報酬	4,974,291				4,974,291
職員給料	7,063,200	61,137,600	7,128,000		75,328,800
諸手当	4,251,008	41,260,589	4,643,063		50,154,660
退職給付費用	88,250	10,389,955	391,650		10,869,855
賃金		21,131,230	8,275,040		29,406,270
福利厚生費	2,226,832	17,037,669	2,372,577		21,637,078
報償費	517,500				517,500
旅費研修費	163,865	82,085			245,950
備品費	111,910	180,810	925,100		1,217,820
消耗品費	218,235	739,950	39,362		997,547
被服費	44,310	377,643	145,320		567,273
燃料費		303,932			303,932
印刷費	188,250				188,250
修繕費	248,639	152,774	6,930		408,343
通信運搬費	195,139				195,139
食糧費	20,080				20,080
手数料	8,850	511,480			520,330
賃借料	502,452				502,452
負担金	200,000		4,330		204,330
保険料	193,690	385,930	44,200		623,820
電話料			440		440
委託料	80,220		1,405,860		1,486,080
租税公課	79,300	20,321,969	5,240,131		25,641,400
雑費	26,990		3,650		30,640
減価償却費	193,777	1,001,248	387,051		1,582,076
本会計への繰出額		24,090,000	4,500,000	28,590,000	0
売店費			41,257,406		41,257,406
食堂費			12,784,883		12,784,883
経常費用計	24,306,352	199,104,864	89,554,993	28,590,000	284,376,209
当期経常増減額	4,674,102	10,792,246	6,417,097	0	21,883,445

科 目	本会計	受託事業 特別会計	収益事業 特別会計	内部取引消去	合 計
2 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					0
経常外収益計	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用					
什器備品除却損			15,817		15,817
経常外費用計	0	0	15,817	0	15,817
当期経常外増減額	0	0	15,817	0	15,817
当期一般正味財産増減額	4,674,102	10,792,246	6,401,280	0	21,867,628
一般正味財産期首残高	57,206,947	917,588	23,591,919	8,603,000	73,113,454
一般正味財産期末残高	61,881,049	11,709,834	29,993,199	8,603,000	94,981,082
指定正味財産増減の部					
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0
正味財産期末残高	61,881,049	11,709,834	29,993,199	8,603,000	94,981,082

# 貸借対照表 総括表

平成22年3月31日現在

科 目	本会計	受託事業 特別会計	収益事業 特別会計	内部取引 消 去	合 計
<b>資産の部</b>					
<b>1 流動資産</b>					
現金預金	7,962,670	32,813,792	23,562,154		64,338,616
未収金			844,269		844,269
商品			1,571,102		1,571,102
短期貸付金			300,000	300,000	0
流動資産合計	7,962,670	32,813,792	26,277,525	300,000	66,753,987
<b>2 固定資産</b>					
<b>(1) 基本財産</b>					
基本財産預金	10,000,000				10,000,000
基本財産合計	10,000,000	0	0	0	10,000,000
<b>(2) 特定資産</b>					
退職給付引当資産	88,250	36,279,085	6,392,945		42,760,280
減価償却引当資産	5,648,258		7,165,449		12,813,707
運営資金積立資産	30,297,476				30,297,476
設備投資積立資産			9,172,000		9,172,000
特定資産合計	36,033,984	36,279,085	22,730,394	0	95,043,463
<b>(3) その他の固定資産</b>					
建物及び付属設備	33,229	4,994,252	330,533		5,358,014
車両運搬具	77,666				77,666
什器備品	107,232		345,503		452,735
ソフトウェア	318,544				318,544
預託金	10,800				10,800
元入金	8,603,000			8,603,000	0
出資金			20,000		20,000
その他の固定資産合計	9,150,471	4,994,252	696,036	8,603,000	6,237,759
固定資産合計	55,184,455	41,273,337	23,426,430	8,603,000	111,281,222
資産合計	63,147,125	74,087,129	49,703,955	8,903,000	178,035,209
<b>負債の部</b>					
<b>1 流動負債</b>					
買掛金			4,035,337		4,035,337
短期借入金	300,000			300,000	0
未払金	308,138	11,631,551	4,753,737		16,693,426
預り金	143,103	583,554	121,177		847,834
仮受金		114,500			114,500
未払法人税等	426,585	13,768,605	4,407,560		18,602,750
流動負債合計	1,177,826	26,098,210	13,317,811	300,000	40,293,847
<b>2 固定負債</b>					
退職給付引当金	88,250	36,279,085	6,392,945		42,760,280
固定負債合計	88,250	36,279,085	6,392,945	0	42,760,280
負債合計	1,266,076	62,377,295	19,710,756	300,000	83,054,127

科 目	本会計	受託事業 特別会計	収益事業 特別会計	内部取引消去	合 計
正味財産の部					
1 指定正味財産					0
指定正味財産合計	0	0	0		0
(うち基本財産への充当額)	( 0)	( 0)	( 0)		( 0)
(うち特定資産への充当額)	( 0)	( 0)	( 0)		( 0)
2 一般正味財産	61,881,049	11,709,834	29,993,199	8,603,000	94,981,082
(うち基本財産への充当額)	( 10,000,000)	( 0)	( 0)		( 10,000,000)
(うち特定資産への充当額)	( 35,945,734)	( 0)	( 16,337,449)		( 52,283,183)
正味財産合計	61,881,049	11,709,834	29,993,199	8,603,000	94,981,082
負債及び正味財産合計	63,147,125	74,087,129	49,703,955	8,903,000	178,035,209

# 収支計算書 総括表

平成21年4月1日から平成22年3月31日まで

科 目	本会計	受託事業 特別会計	収益事業 特別会計	内部取引 消 去	合 計
事業活動収支の部					
1 事業活動収入					
基本財産利息収入	30,000				30,000
受託事業特別会計からの繰入金収入	23,881,000			23,881,000	0
収益事業特別会計からの繰入金収入	4,500,000			4,500,000	0
会費収入	66,500				66,500
受取利息	17,954				17,954
雑収入	276,000	2,110	61,844		339,954
静岡市からの受託料収入		209,895,000			209,895,000
販売事業収入			94,652,196		94,652,196
その他の事業収入			1,258,050		1,258,050
事業活動収入計	28,771,454	209,897,110	95,972,090	28,381,000	306,259,654
2 事業活動支出					
催事費支出	373,944				373,944
広報宣伝費支出	1,887,369				1,887,369
行事諸費支出	295,621				295,621
調査研究費支出	152,630				152,630
役員報酬支出	4,974,291				4,974,291
職員給料支出	7,063,200	61,137,600	7,128,000		75,328,800
諸手当支出	4,251,008	41,260,589	4,643,063		50,154,660
退職給付支出		19,243,180	2,461,690		21,704,870
貸金支出		21,131,230	8,275,040		29,406,270
福利厚生費支出	2,226,832	17,037,669	2,372,577		21,637,078
報償費支出	517,500				517,500
旅費研修費支出	163,865	82,085			245,950
備品費支出	111,910	180,810	925,100		1,217,820
消耗品費支出	218,235	739,950	39,362		997,547
被服費支出	44,310	377,643	145,320		567,273
燃料費支出		303,932			303,932
印刷費支出	188,250				188,250
修繕費支出	248,639	152,774	6,930		408,343
通信運搬費支出	195,139				195,139
食糧費支出	20,080				20,080
手数料支出	8,850	511,480			520,330
賃借料支出	502,452				502,452
負担金支出	200,000		4,330		204,330
保険料支出	193,690	385,930	44,200		623,820
委託料支出	80,220		1,405,860		1,486,080
電話料支出			440		440
租税公課支出	79,300	20,321,969	5,240,131		25,641,400
雑支出	26,990		3,650		30,640
本会計への繰入金支出		24,090,000	4,500,000	28,590,000	0
売店費支出			41,257,406		41,257,406
食堂費支出			12,784,883		12,784,883
事業活動支出計	24,024,325	206,956,841	91,237,982	28,590,000	293,628,708
事業活動収支差額	4,747,129	2,940,269	4,734,108	209,000	12,630,946

科 目	本会計	受託事業 特別会計	収益事業 特別会計	内部取引消去	合 計
投資活動の部					
1 投資活動収入					
受託事業特別会計からの繰入金収入	209,000			209,000	0
退職給付引当資産取崩収入		19,243,180	2,461,690		21,704,870
投資活動収入計	209,000	19,243,180	2,461,690	209,000	21,704,870
2 投資活動支出					
退職給付引当資産取得支出	88,250	20,442,005	413,389		20,943,644
減価償却引当資産取得支出	618,502		1,365,449		1,983,951
設備投資積立資産取得支出			1,500,000		1,500,000
投資活動支出計	706,752	20,442,005	3,278,838	0	24,427,595
投資活動収支差額	497,752	1,198,825	817,148	209,000	2,722,725
予備費支出	0	0	0		0
当期収支差額	4,249,377	1,741,444	3,916,960	0	9,908,221
前期繰越収支差額	2,535,467	4,974,138	9,042,754	0	16,552,359
次期繰越収支差額	6,784,844	6,715,582	12,959,714	0	26,460,580

## 平成22年度 財団法人静岡市動物園協会事業計画

### 運営方針

本年は国際生物多様性年にあたり、秋には第10回生物多様性条約締結国会議COP10が開催されます。生物多様性条約は、特定の行為・生息地のみを対象とするのではなく、地球上の生物の多様性を包括的に保全することが目的とされている。

当協会においては日本平動物園の場を活用した各事業の実施により、動物の愛護思想の普及を図るとともに、動物園の潜在的機能の一つである情操教育及び環境教育的機能を補完するため、ガイドボランティアとの協働事業等、公益事業の実施に積極的に取り組む。

また、平成20年12月の公益法人改革関連3法の施行により、当協会においても従来の公益法人としての公益性を問われるところであり、新たな公益法人制度のものと的確に移行申請を行うべく法定要件等の整理調整を進め移行に向けた準備を進める。

### 協会の機構

協会の機構は、議決、執行、監査の3つの機関から構成され、その組織及び任務は次のとおりである。

機関名	組織名	任 務 等
1. 議決機関	理事会	事業計画、予算の議決等、協会運営に関する重要な事項を決定する。
2. 執行機関	理事長	理事会を代表し、会務を総理する。
	理 事	理事会を組織して、事業の執行をはかる。
	事務局	事務に従事する。
3. 監査機関	監 事	業務執行及び財産の状況を監査する。

## 事業概要

### 1. 公益事業

動物園事業の発展振興をはかり、あわせて動物の愛護思想を普及することを目的とし、次の各種事業を実施する。

#### (1) 教育普及事業

##### 動物園講演会

動物、動物園、環境に関する講演会を開催する。

##### めざせ！動物園博士

区 分	内 容	実施回数
入門コース	動物園を一周するクイズラリー。わかって、うれしい4択問題。答えは必ず動物園のどこかに。今まで、なんとなく眺めていた人も、楽しく動物を見て回ることができます。	1回 / 1日
専門コース	入門コース修了者を対象に、4種類の専門コースを実施。半年に1つずつ、順次実施します。4つすべてを修了した人を、「動物園博士」として認定します。	2回 / 4日
日本平動物園博士学会	入門コース及び専門コース修了者による「日本平動物園博士学会」を組織する。 日本平動物園バックヤードツアー 他園見学ツアー	

##### 動物園親子教室

未就学児とその保護者を対象にリトミックや工作を通じて、動物への愛護精神の普及を図る「動物園親子教室」を実施する。

区 分	テーマの動物（予定）	開催予定日
4. 5月	レッサーパンダ	4/18 ・ 5/16
6. 7月	マレーバク	6/20 ・ 7/18
8. 9月	ペンギン	8/15 ・ 9/19
10.11月	アジアゾウ	10/17 ・ 11/21
12. 1月	ウサギ	12/19 ・ 1/16
2. 3月	ホッキョクグマ	2/20 ・ 3/20

##### 職場体験学習

中学生を対象とした職場体験学習の実施によって、望ましい勤労観・職業観を育成し、社会人として自立する力を養うとともに、動物園協会の担う役割を広く周知する。

#### (2) イベント事業

イベント名	開催日等	実施区分	内 容
雨の日・平日 ポイントカード	雨の日 平 日	共催	雨の日・平日の来園者にポイントカードを配布して、ポイントに応じてオリジナルグッズをプレゼント
春の写生大会	春の動物園まつり	共催	社団法人日本動物園水族館協会中部ブロック主催の写生大会

フォトコンテスト	春の動物園まつり	共催	園内風景、動物写真のコンテスト
開園記念日	8月1日	主催	開園記念日にあわせてオリジナルうちわの作成及び来園者へプレゼント
秋の写生大会	秋の動物園まつり	共催	園内の動物または風景の写生
ケータイフォトコンテスト	秋の動物園まつり	共催	携帯で撮影した写真のコンテスト
動物慰霊祭	9月23日	共催	過去1年の死亡動物の慰霊・名簿納め
カレンダープレゼント	12月12日 12月19日	主催	2011年オリジナルカレンダー配布 ・先着400組
干支の置物プレゼント	1月2日 1月3日	主催	卯年にあたりウサギの置物を配布
もちつき大会	1月10日	共催	来園者の方々ともちつき大会実施
記念スタンプ作製 「水辺の動物園」 「爬虫類館」		主催	再整備計画においてオープンが予定されている施設の記念スタンプ及びシートの作製

(3) 日本平動物園ボランティア事業

生涯学習としてのボランティア活動を側面から支援するとともに、動物解説、園内案内、イベントへの参加協力により、来園者へのサービスを充実させる。

(4) 広報宣伝事業

機関誌の発行

動物写真、動物園の話題、飼育研究報告をまとめた機関誌の発行

誌名	発行予定	発行部数
「Zooしずおか」	第69号 7月1日	各2,000部
	第70号 1月1日	

広報キャンペーン

6月～7月	日本平動物園のイベント情報及び入園案内等を掲載したポスター及びパンフレットを作製のうえ、幼稚園・保育園・観光会社・バス会社等を対象に配布し利用促進を図る。
-------	---

宣伝用広告掲載

掲出方法	対象地域等
バス車内ポスター掲出	県東部及び山梨県南部方面を運行するバス車内への広告掲載
駅構内ポスター掲出	県東部のJR駅構内への広告掲載
各種広告掲載	静岡市観光パンフレット「旅ナビ」 「わお！高速道路SA広域配布ロードマップ」

(5) 施設整備事業

来園者の利便を図るため園内施設の整備に協力する。

(6) 調査研究事業

入園者増対策及び施設運営状況の調査

関連団体との連絡調整

財団法人世界自然保護基金ジャパン WWF Japan への募金協力

## 2. 受託事業

静岡市立日本平動物園園内管理業務及び入園料等徴収事務を受託し、市民がこれらの施設を快適に利用できるよう努める。

項 目	内 容
(1) 入園者に対する売改札及び案内業務	入園券の交付に関する事 入園券の改札に関する事 条例に基づく入園の拒否及び退園の命令に関する事 入園の案内に関する事 (園内放送及び遺失物等の一時的取扱いを含む)
(2) 駐車場の運営	駐車場施設の保全・管理に関する事 条例に基づく駐車拒否に関する事 駐車場への誘導・整理に関する事 駐車票の交付に関する事 駐車中の車両の監視に関する事 駐車場の車両の損害保険に関する事
(3) 遊戯施設の運営	遊戯施設の運転に関する事 遊戯施設の維持・保全に関する事 使用券の交付に関する事 使用券の改札に関する事 遊戯施設を利用しようとする者の指導・監督に関する事。 遊戯施設の利用により生じた人身事故の損害保険に関する事
(4) 動物園内清掃 (動物収容施設を除く)	園内清掃 収集したごみの清掃工場への搬出
(5) 入園者誘致及び教育普及事業に係る 各種事業の共同開発・実施	各種イベントに関する事 誘客宣伝に関する事 渋滞緩和対策に関する事 ゴミの分別・分煙の啓発等に関する事
(6) 入園料等徴収事務	入園等の確認 入園料等の徴収及び静岡市への納付事務

### 3. 収益事業

静岡市立日本平動物園において物販及び飲食等のサービス事業を実施する。事業運営によって得られた収益は公益事業として市民に還元する。

本年度は、接客サービスの向上や取扱商品の構成に留意するとともに、利用者サービスの評価検証の実施に向けての検討を行う。

区 分		設置数
販売事業	売店事業	売店 臨時売店 自動販売機 4ヶ所 1ヶ所 6台
	食堂事業	レストハウス 自動販売機 1ヶ所 1台
	自販機等事業	自動販売機 移動販売車 17台 1台
その他の事業	ベビーカー貸出 ガイドマシン（動物説明機）設置 コインロッカー設置 望遠鏡設置 2ヶ所 24台 1ヶ所 6台	

平成 22 年度 財団法人静岡市動物園協会  
本 会 計 予 算

平成 22 年度財団法人静岡市動物園協会の本会計予算は、次に定めるところによる。

(業務予定量)

第 1 条 業務の予定量は、次のとおりとする。

有料入園者数 270,000人

(収入支出予算)

第 2 条 収入支出予算の総額は、それぞれ 29,357 千円とする。

2 収入支出予算の科目の区分及び当該区分ごとの金額は、「別表 本会計収支予算書」による。

## 別 表

本 会 計 収 支 予 算 書  
平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

( 印は減)

単位:千円

科 目	予算額	前年度 予算額	増 減	備 考
事業活動収支の部				
1 事業活動収入				
基本財産運用収入				
基本財産利息収入	50	100	50	
事業収入				
教育普及事業収入	80	0	80	
他会計からの繰入金収入				
受託事業特別会計からの繰入金収入	23,718	23,881	163	
収益事業特別会計からの繰入金収入	5,020	4,500	520	
雑収入				
受取利息	50	50	0	
雑収入	300	300	0	
会費収入				
会費収入	0	150	150	
事業活動収入計	29,218	28,981	237	
2 事業活動支出				
事業費支出				
報償費支出	380	0	380	
旅費研修費支出	150	0	150	
備品費支出	280	0	280	
消耗品費支出	430	0	430	
印刷製本費支出	1,465	0	1,465	
修繕費支出	250	0	250	
通信運搬費支出	150	0	150	
図書購読費支出	100	0	100	
広報宣伝費支出	980	1,800	820	
食糧費支出	60	0	60	
委託料支出	350	0	350	
賃借料支出	155	0	155	
負担金支出	100	0	100	
雑支出	150	0	150	
催事費支出	0	1,300	1,300	
施設整備費支出	0	250	250	
行事諸費支出	0	1,050	1,050	
調査研究費支出	0	200	200	
事業費支出計	5,000	4,600	400	

科 目	予算額	前年度 予算額	増 減	備 考
管理費支出				
役員報酬支出	5,577	5,673	96	
職員給料支出	7,035	7,247	212	
諸手当支出	4,494	5,060	566	
福利厚生費支出	2,454	2,531	77	
報償費支出	804	768	36	
旅費研修費支出	284	256	28	
備品費支出	50	50	0	
消耗品費支出	200	200	0	
被服費支出	59	63	4	
印刷製本費支出	165	165	0	
修繕費支出	327	327	0	
通信運搬費支出	204	193	11	
食糧費支出	75	75	0	
手数料支出	15	10	5	
委託料支出	801	70	731	
賃借料支出	642	642	0	
負担金支出	202	202	0	
保険料支出	196	215	19	
租税公課支出	84	84	0	
雑支出	50	50	0	
管理費支出計	23,718	23,881	163	
事業活動支出計	28,718	28,481	237	
事業活動収支差額	500	500	0	
投資活動収支の部				
1 投資活動収入				
他会計からの繰入金収入				
受託事業特別会計からの繰入金収入	139	209	70	
投資活動収入計	139	209	70	
2 投資活動支出				
特定資産取得支出				
減価償却引当資産取得支出	139	209	70	
投資活動支出計	139	209	70	
投資活動収支差額	0	0	0	
予備費支出	500	500	0	
当期収支差額	0	0	0	
前期繰越収支差額	2,536	1,592	944	
次期繰越収支差額	2,536	1,592	944	

(注) 前年度予算額は当初予算額である

平成 22 年度 財団法人静岡市動物園協会  
受 託 事 業 特 別 会 計 予 算

平成 22 年度財団法人静岡市動物園協会の受託事業特別会計予算は、次に定めるところによる。

(収入支出予算)

第 1 条 収入支出予算の総額は、それぞれ 2 2 8 , 3 5 5 千円とする。

2 収入支出予算の科目の区分及び当該区分ごとの金額は、「別表 受託事業特別会計収支予算書」による。

## 別 表

## 受託事業特別会計収支予算書

平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

( 印は減)

単位:千円

科 目	予算額	前年度 予算額	増 減	備 考
事業活動収支の部				
1 事業活動収入				
受託事業収入				
静岡市からの受託料収入	211,898	212,037	139	
事業活動収入計	211,898	212,037	139	
2 事業活動支出				
受託事業費支出				
職員給料支出	66,940	65,020	1,920	
諸手当支出	43,822	46,717	2,895	
退職給付支出	16,457	5,506	10,951	
賃金支出	22,444	26,280	3,836	
福利厚生費支出	19,358	19,732	374	
旅費研修費支出	106	106	0	
備品費支出	1,032	200	832	
消耗品費支出	1,733	700	1,033	
被服費支出	624	646	22	
燃料費支出	370	425	55	
修繕費支出	420	420	0	
保険料支出	441	400	41	
手数料支出	567	593	26	
租税公課支出	20,352	21,202	850	
受託事業費支出計	194,666	187,947	6,719	
他会計への繰入金支出				
本会計への繰入金支出	23,857	24,090	233	
事業活動支出計	218,523	212,037	6,486	
事業活動収支差額	6,625	0	6,625	
投資活動収支の部				
1 投資活動収入				
特定資産取崩収入				
退職給付引当資産取崩収入	16,457	5,506	10,951	
投資活動収入計	16,457	5,506	10,951	
2 投資活動支出				
特定資産取得支出				
退職給付引当資産取得支出	9,832	5,506	4,326	
投資活動支出計	9,832	5,506	4,326	
投資活動収支差額	6,625	0	6,625	
当期収支差額	0	0	0	
前期繰越収支差額	4,975	1,793	3,182	
次期繰越収支差額	4,975	1,793	3,182	

(注) 前年度予算額は当初予算額である

平成 22 年度 財団法人静岡市動物園協会  
収 益 事 業 特 別 会 計 予 算

平成 22 年度財団法人静岡市動物園協会の収益事業特別会計予算は、次に定めるところによる。

(収入支出予算)

第 1 条 収入支出予算の総額は、それぞれ 1 0 3 , 3 5 0 千円とする。

2 収入支出予算の科目の区分及び当該区分ごとの金額は、「別表 収益事業特別会計収支予算書」による。

## 収益事業特別会計収支予算書

平成21年4月1日から平成22年3月31日まで

( 印は減)

単位:千円

科 目	予算額	前年度 予算額	増 減	備 考
事業活動収支の部				
1 事業活動収入				
収益事業収入				
販売事業収入	100,170	101,400	1,230	
売店事業収入	66,420	68,900	2,480	
食堂事業収入	24,300	26,000	1,700	
自動販売機等事業収入	9,450	6,500	2,950	
その他の事業収入	1,350	1,300	50	
その他の収入	1,350	1,300	50	
収益事業収入計	101,520	102,700	1,180	
雑収入				
雑収入	50	50	0	
事業活動収入計	101,570	102,750	1,180	
2 事業活動支出				
営業費支出				
売店費支出	44,200	43,800	400	
商品費支出	41,000	40,600	400	
光熱水費支出	1,200	1,200	0	
賃借料支出	1,500	1,500	0	
売店雑支出	500	500	0	
食堂費支出	14,300	13,800	500	
材料費支出	9,000	9,500	500	
光熱水費支出	3,500	2,500	1,000	
賃借料支出	1,300	1,300	0	
食堂雑支出	500	500	0	
営業費支出計	58,500	57,600	900	
営業管理費支出				
職員給料支出	9,000	6,500	2,500	
諸手当支出	5,650	4,500	1,150	
退職給付支出	1,550	2,400	850	
賃金支出	8,250	12,600	4,350	
福利厚生費支出	2,650	2,600	50	
旅費研修費支出	205	190	15	
備品費支出	970	700	270	
消耗品費支出	100	100	0	
被服費支出	210	210	0	
修繕費支出	105	320	215	
食糧費支出	30	30	0	
保険料支出	50	50	0	
電話料支出	0	10	10	
委託料支出	1,100	1,200	100	
負担金支出	40	40	0	
租税公課支出	6,870	7,500	630	
雑支出	50	50	0	
営業管理費支出計	36,830	39,000	2,170	

科 目	予算額	前年度 予算額	増 減	備 考
他会計への繰入金支出				
本会計への繰入金支出	5,020	4,500	520	
事業活動支出計	100,350	101,100	750	
事業活動収支差額	1,220	1,650	430	
投資活動収支の部				
1 投資活動収入				
特定資産取崩収入				
退職給付引当資産取崩収入	1,780	2,400	620	
投資活動収入計	1,780	2,400	620	
2 投資活動支出				
特定資産取得支出				
退職給付引当資産取得支出	0	1,050	1,050	
設備投資積立資産取得支出	1,000	1,000	0	
減価償却引当資産取得支出	1,500	1,500	0	
投資活動支出計	2,500	3,550	1,050	
投資活動収支差額	720	1,150	430	
予備費支出	500	500	0	
当期収支差額	0	0	0	
前期繰越収支差額	9,043	11,561	2,518	
次期繰越収支差額	9,043	11,561	2,518	

(注) 前年度予算額は当初予算額である

収支予算書総括表  
平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

単位:千円

科 目	本会計	受託事業 特別会計	収益事業 特別会計	内部取引 消 去	合 計
事業活動収支の部					
1 事業活動収入					
基本財産利息収入	50				50
教育普及事業収入	80				80
静岡市からの受託料収入		211,898			211,898
販売事業収入			100,170		100,170
その他の事業収入			1,350		1,350
受託事業特別会計からの繰入金収入	23,718			23,718	0
収益事業特別会計からの繰入金収入	5,020			5,020	0
受取利息	50				50
雑収入	300		50		350
事業活動収入計	29,218	211,898	101,570	28,738	313,948
2 事業活動支出					
職員給料支出		66,940			66,940
諸手当支出		43,822			43,822
退職給付支出		16,457			16,457
賃金支出		22,444			22,444
福利厚生費支出		19,358			19,358
報償費支出	380				380
旅費研修費支出	150	106			256
備品費支出	280	1,032			1,312
消耗品費支出	430	1,733			2,163
被服費支出		624			624
燃料費支出		370			370
印刷製本費支出	1,465				1,465
修繕費支出	250	420			670
保険料支出		441			441
手数料支出		567			567
通信運搬費支出	150				150
図書購読費支出	100				100
広報宣伝費支出	980				980
食糧費支出	60				60
委託料支出	350				350
賃借料支出	155				155
負担金支出	100				100
租税公課支出		20,352			20,352
雑支出	150				150
売店費支出			44,200		44,200
食堂費支出			14,300		14,300

科 目	本会計	受託事業 特別会計	収益事業 特別会計	内部取引 消 去	合 計
役員報酬支出	5,577				5,577
職員給料支出	7,035		9,000		16,035
諸手当支出	4,494		5,650		10,144
退職給付支出			1,550		1,550
賃金支出			8,250		8,250
福利厚生費支出	2,454		2,650		5,104
報償費支出	804				804
旅費研修費支出	284		205		489
備品費支出	50		970		1,020
消耗品費支出	200		100		300
被服費支出	59		210		269
印刷製本費支出	165				165
修繕費支出	327		105		432
通信運搬費支出	204				204
食糧費支出	75		30		105
手数料支出	15				15
委託料支出	801		1,100		1,901
賃借料支出	642				642
負担金支出	202		40		242
保険料支出	196		50		246
租税公課支出	84		6,870		6,954
雑支出	50		50		100
本会計への繰入金支出		23,857	5,020	28,877	0
事業活動支出計	28,718	218,523	100,350	28,877	318,714
事業活動収支差額	500	6,625	1,220	139	4,766
投資活動収支の部					
1 投資活動収入					
退職給付引当資産取崩収入		16,457	1,780		18,237
受託事業特別会計からの繰入金収入	139			139	0
投資活動収入計	139	16,457	1,780	139	18,237
2 投資活動支出					
退職給付引当資産取得支出		9,832			9,832
設備投資積立資産取得支出			1,000		1,000
減価償却引当資産取得支出	139		1,500		1,639
投資活動支出計	139	9,832	2,500	0	12,471
投資活動収支差額	0	6,625	720	139	5,766
予備費支出	500	0	500		1,000
当期収支差額	0	0	0	0	0
前期繰越収支差額	2,536	4,975	9,043	0	16,554
次期繰越収支差額	2,536	4,975	9,043	0	16,554